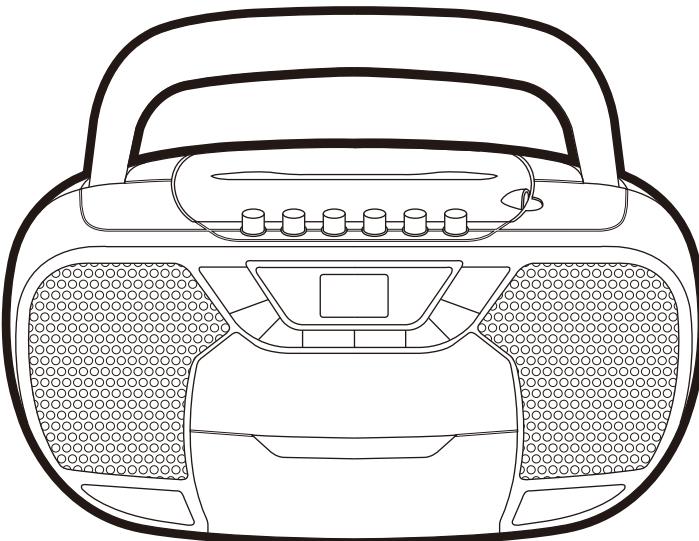


取扱説明書

CDラジオカセット

型番 DCD-WS220



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

このたびは本製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。本製品は家庭用として作られています。本来の目的以外や、異常な環境下で使用しないでください。故障の原因になります。

もくじ

安全上のご注意	1-2	修理サービスを依頼いただく前に	17
各部の名称	3	アフターサービス	18
使い方	4-15	仕様	18
お手入れと保管	16	保証書（持込修理）	19

- イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。
- 本製品は一般家庭用です。業務用などに使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることにより生じることが想定される内容を【危険】[警告][注意]の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

△ 危険

取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示します。

△ 警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

△ 注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

※お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでもお読みいただけるところに必ず保管してください。

△ 危険



修理技術者以外の人は絶対に分解や修理・改造をしない

- 発火したり、異常動作したりしてケガをする恐れがあります。



傷んだ電源プラグや電源コードは、絶対に交換・分解・修理・改造をしない

- 火災や感電の原因になります。電源プラグや電源コードが破損したときはただちにご使用を中止し、当社サービスセンターにご相談ください。



本体に水や飲み物をかけない

- 内部に水分が入ると、感電や故障の原因になります。すぐに使用を中止し、お買上げの販売店まで点検をご依頼ください。

△ 警告



AC100V以外では使用しない

- 火災・感電の原因になります。



梱包用ポリ袋などは、幼児の手の届かないところに保管する

- 被るなどすると、口や鼻をふさぎ、窒息の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単独で使用する
(延長コード・電源タップ・タコ足配線などの状態で使用しない)

- 他の機器と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります。

△ 注意



不安定な場所に置かない

- 転倒、落下し、故障の原因になります。



本体に強い衝撃を与えない

- ケガや故障の原因になります。

安全上のご注意

△注意

 <p>高温の環境に置かない ●故障の原因になります。</p>	 <p>以下の異常が発生した場合、使用を中止し、当社サービスセンターにご相談ください ●本体内部が濡れた場合。 ●本体が破損した場合。 ●本体から煙、火花が出た場合。 ●液晶表示部が点滅、破損した場合。</p>
 <p>排気口をふさいで使用しない ●本体内部に熱がこもり、火災の原因になります。 ●本棚やラックの中など狭い場所に設置しない。 ●本体に布やカーテンなどを掛けたり、覆ったりしない。</p>	 <p>製品は定期的にお手入れをする ●ホコリや汚れがたまると、発火・発煙などの恐れがあります。</p>
 <p>磁気の影響を受けやすいものを近づけない ●スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなる恐れがあります。</p>	 <p>ヘッドホン接続前に音量を下げる ●音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。</p>
 <p>過度にアンテナを調節しない ●破損する恐れがあります。</p>	 <p>ラジオ使用時はテレビなどの電子機器から離して使用する ●ラジオに雑音が入る場合があります。</p>
 <p>隙間にピンや針金などの金属物や異物、指を入れない ●感電や異常動作して、ケガや故障する恐れがあります。 ●異物が入ったときは、使用を中止しお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。</p>	 <p>長期間使わないときは、乾電池を取り出す ●液漏れ・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。</p>
 <p>電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない ●重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>	 <p>CD扉に指をはさまれないように注意する ●ケガの原因になります。 特にお子様にはご注意ください。</p>
 <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しない ●感電・ショート・発火の原因になります。</p>	 <p>特殊な形状(ハート型・カード型など)をしたディスクを使用しない ●故障の原因になります。</p>
	 <p>使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く ●ケガやヤケド、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>
	 <p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずには必ず先端の電源プラグを持って引き抜く ●感電・ショートして発火する恐れがあります。</p>

免責事項

- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して一切の責任を負いません。
- 本製品の不具合により再生・録音ができなかった場合や、録音した内容が破損・消去された場合などにおいても録音内容の修復、復元、複製などは致しません。

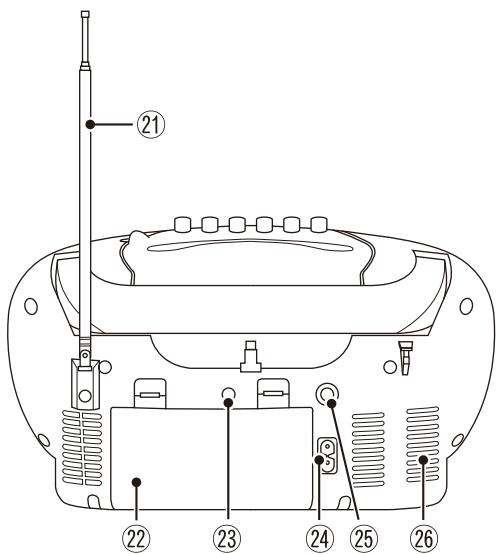
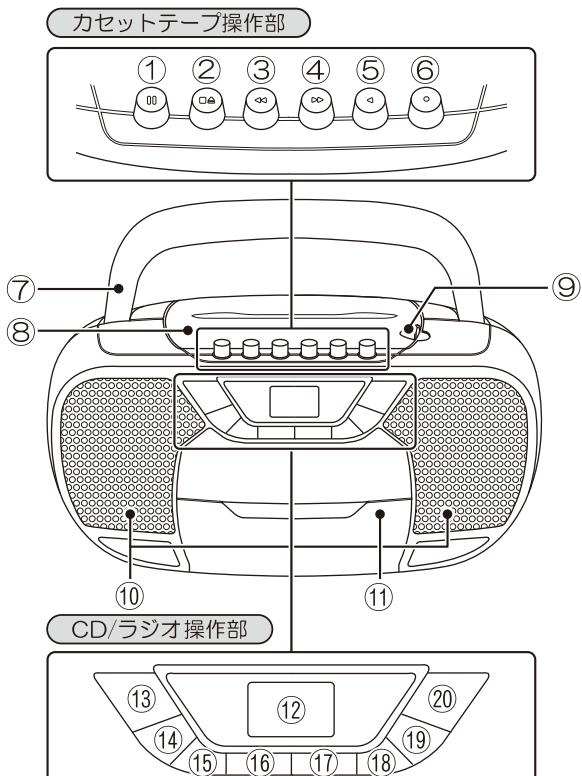
著作権

- 録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

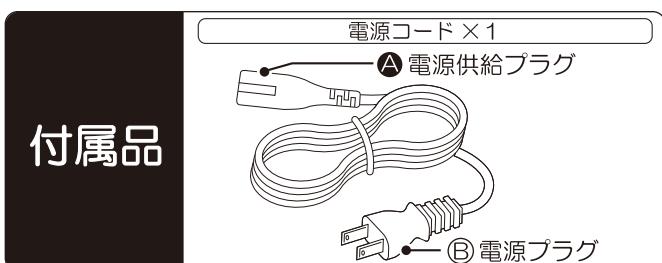
各部の名称

前 面

後 面



- | | | | |
|------------|------------|----------------|---------------|
| ① ◎一時停止ボタン | ⑦ 持ち手 | ⑯ ▼進む▼ボタン | ⑲ ■停止ボタン |
| ② □停止/開ボタン | ⑧ CD扉 | ⑰ 音量-ボタン | ⑳ ▶再生/一時停止ボタン |
| ③ ▲早送りボタン | ⑨ CD扉開閉部 | ⑱ 音量+ボタン | ㉑ アンテナ |
| ④ ▼巻戻しボタン | ⑩ スピーカー | ⑳ ▶再生/一時停止ボタン | ㉒ 電池カバー |
| ⑤ ▲再生ボタン | ⑪ カセットテープ扉 | ㉓ 外部入力(AUX)差込口 | ㉔ 電源コード差込口 |
| ⑥ ○録音ボタン | ⑫ 液晶表示部 | ㉕ ヘッドホン差込口 | ㉖ 排気口 |

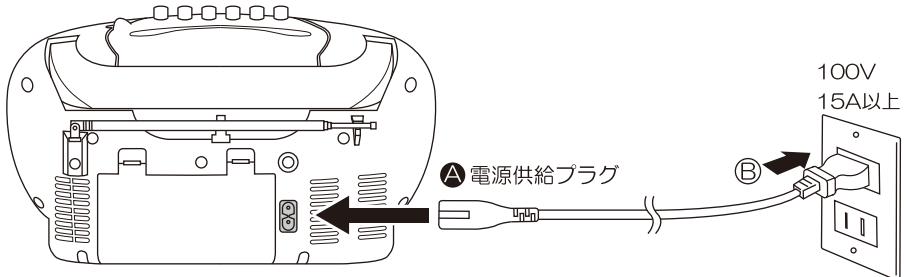


● イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

使い方

家庭用電源を使う

- ①付属の電源コードの**A**電源供給プラグを電源コード差込口に差し込みます。
- ②**B**電源プラグをコンセントに差し込みます。

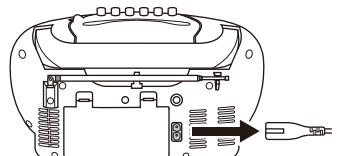


- 電源コードは必ずほどいた状態でご使用ください。
結んだり、束ねたりしたままご使用されますと、発熱や発火の恐れがあります。
- コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

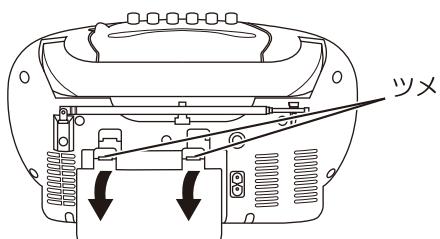
乾電池(別売)を使う (単2形乾電池×6)

《はじめに》

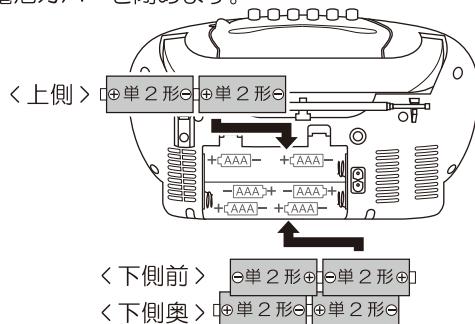
電源コードを本体に差し込んでいる場合は、電源コードを抜いてください。
(電源コードを本体から抜かないと乾電池電源に切り替わりません)



- ①電池カバーを矢印の方向にツメの部分を押して引き出します。



- ②「+・-」の表示に合わせて電池を入れ、電池カバーを閉めます。



- 必ずアルカリ電池を使用してください。
- 「+・-」を正しく入れてください。
- 新しい電池、使用済の電池や違う種類の電池は混ぜて使用しないでください。
- 動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- 液もれによる故障の恐れがあるため、長時間使用しないときは電池を取り出してください。
- もし液もれが起こった場合は、液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 使用済みの電池は、お住まいの地域のゴミ分別方法に従って廃棄してください。

使い方

基本操作

電源を入れる / 切る / 機能を切り替える

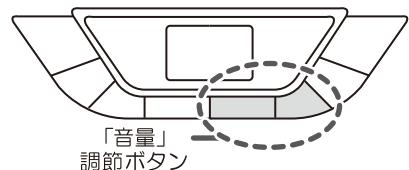
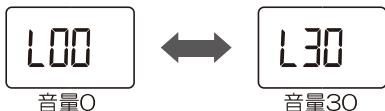
- 「**電源 / 切替**」ボタンを押すと電源が入ります。
- 「**電源 / 切替**」ボタンを長押しすると電源が切れます。
- 「**電源 / 切替**」ボタンを押すたびに下図の操作ができます。

機能切替



音量を上げる / 下げる

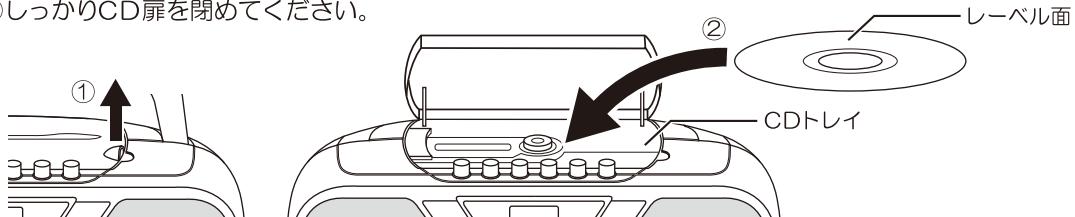
- 「音量 +」ボタンを押すと音量が上がります。
- 「音量 -」ボタンを押すと音量が下がります。



CDを聴く

CDを入れる

- ①手動でCD扉開閉部を矢印の方向に持ち上げ、CD扉を開けます。
- ②CDトレイの中にレーベル面を上にしてCDをはめ込みます。
- ③しっかりCD扉を閉めてください。



再生中や一時停止中、CD扉を閉めた直後はCD扉を開けない
●CDに傷がつく恐れがあります。

曲を再生する



- ①「**電源 / 切替**」ボタンを押して、CD設定画面に切り替えます。
- ②自動で液晶表示部の表示が順に切り替わり、トラック1番を再生します。
- ③CD再生中は、液晶表示部に再生時間が表示されます。

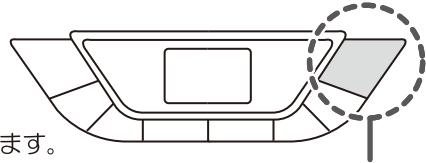


使い方

C D を 聽 く

曲を一時停止する

- CD再生中に「▶▷再生 / 一時停止」ボタンを押すと、CDの再生を一時停止します（液晶表示部の再生時間が点滅します）。
- 再度「▶▷再生 / 一時停止」ボタンを押すと、CDの再生を再開します。



「▶▷再生/一時停止」
ボタン



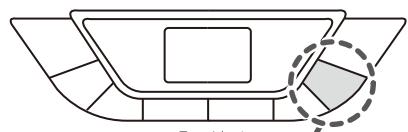
CD一時停止中
(再生時間が点滅)

曲を停止する

- CD再生中や一時停止中に「■停止」ボタンを押すと、CDの再生を停止します。
- CDを停止すると、液晶表示部に総曲数（トラック数）が表示されます。
- 「■停止」ボタンを押さなくても、すべての曲の再生が終了すると停止します（リピート再生を除く）。



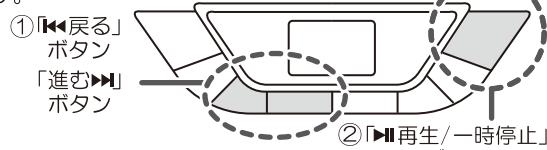
総曲数
(トラック数)



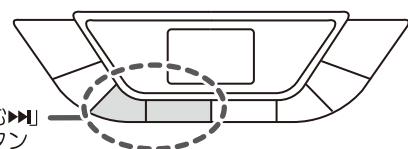
「■停止」
ボタン

曲を選んで再生する

- ①CD再生中や一時停止中、停止中に「◀◀戻る」ボタンまたは「進む▶▶」ボタンを押して曲を選択します。
- ②「▶▷再生 / 一時停止」ボタンを押すとCDを再生します。



①「◀◀戻る」
ボタン
「進む▶▶」
ボタン
②「▶▷再生/一時停止」
ボタン

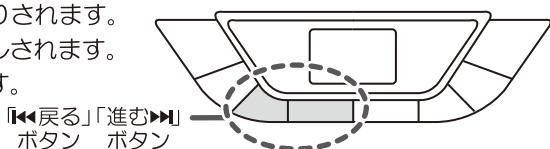


「◀◀戻る」「進む▶▶」
ボタン ボタン

曲を早送り / 早戻しする

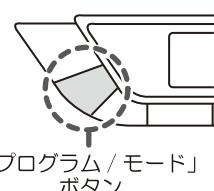
- CD再生中に「進む▶▶」ボタンを長押しすると早送りされます。
- CD再生中に「◀◀戻る」ボタンを長押しすると早戻しされます。

※ボタンを押している間だけ早送り / 早戻しされます。



曲をリピート再生 / ランダム再生する

- CD再生中、一時停止中に「プログラム / モード」ボタンを押すと、順送りで表示が変わります。
表示を見ながら操作してください。



「プログラム / モード」
ボタン

使い方

CDを聴く

曲のプログラムを設定する / 再生する

①「▶再生 / 一時停止」ボタンを押してCDを再生します。

②「■停止」ボタンを押して、CDを停止します。

③「プログラム / モード」ボタンを押すと、液晶表示部に「PROG」と点滅表示されます。

④「◀戻る」ボタンまたは「進む▶」ボタンを押して、プログラムに登録したい曲を選択します。

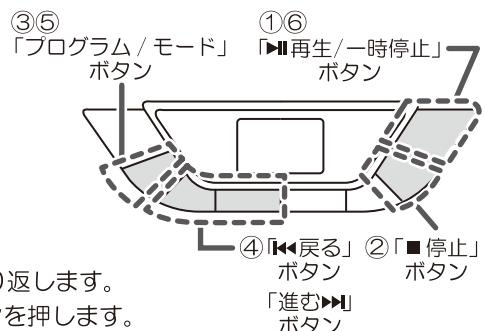
⑤「プログラム / モード」ボタンを押して確定します。

●プログラムに追加したい曲がある場合、手順④・⑤を繰り返します。

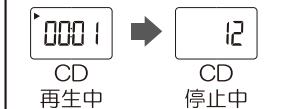
⑥プログラム設定を終了するには「▶再生 / 一時停止」ボタンを押します。

プログラム設定完了と同時に、プログラムに登録した

1曲目の登録曲から再生が始まります。



CDを再生し
停止する



プログラム
設定



①「▶再生 / 一時停止」ボタンを押してCDを再生
②CD再生中に「■停止」ボタンを押す

③「プログラム / モード」ボタンを押す
●液晶表示部に「PROG」と点滅表示されます。

登録したい
曲を選択



④トラック番号選択：「◀戻る」ボタン・「進む▶」ボタンを押す
⑤トラック番号確定：「プログラム / モード」ボタンを押す

●曲を追加する場合、トラック番号選択・確定を繰り返します。
●プログラムには最大20曲まで登録できます。
最大曲数を超えると液晶表示部に「FUL」と表示されます。

設 定 終 了

CDを再生



⑥プログラム設定を終了：「▶再生 / 一時停止」ボタンを押す
●プログラム設定完了と同時に、プログラムに登録した
1曲目の登録曲から再生が始まります。

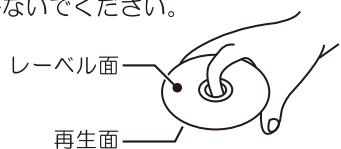
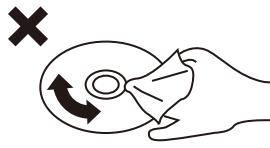
⑦以下の場合に設定したプログラムは消去されます（液晶表示部の「PROG」の表示が消えます）。

- ・電源プラグをコンセントから抜いたとき
- ・CD以外の機能に切り替えたとき
- ・CD扉を開けたとき
- ・「■停止」ボタンを2回押したとき

※液晶表示部に「PROG」と表示されている間は、何度でも設定したプログラムを再生できます。

使い方

CDの取り扱いについて

使用可能なCDについて	<ul style="list-style-type: none">●本製品は、CD規格(CD-DA)に準拠したディスクを再生できます。下図マークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。●CD規格外のディスク(コピー・コントロールCDなど)は動作や音質を保証できません。●特殊な形状(ハート型・カード型など)をしたディスクを使用しないでください。故障の原因になります。 
CD-R/RWについて	<ul style="list-style-type: none">●本製品は、CD規格で作成されたCD-R(CD-Recordable)およびCD-RW(CD-ReWritable)を再生できます。●MP3形式などのオーディオファイルは再生できません。
CDの取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none">●ディスクを触るときは、ディスクの表面に手を触れずにできるだけ端を持つようにしてください。●シールやテープなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるディスクを使用しないでください。故障の原因になります。●再生後は本製品から取り出して必ず専用ケースに入れて保管してください。●直射日光のあたる場所、高温になる場所に放置しないでください。ディスクが変形するおそれがあります。●鉛筆やボールペンなどで文字を書いたりしないでください。ディスクが傷つく原因になります。 
CDのお手入れについて	<ul style="list-style-type: none">●ディスクについた指紋の汚れは、やわらかい布や市販のディスククリーニングキットを使用して拭き取ってください。ベンジン・シンナー・レコードクリーナーなどは使用しないでください。●お手入れするときは、ディスクの中心から外側に向かって放射線状に軽く拭き取ってください。円周にそって拭かないでください。  

使い方

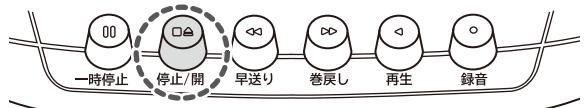
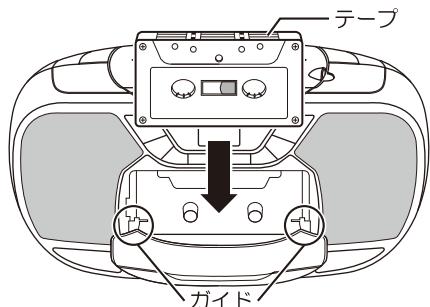
カセットテープを聴く

カセットテープを入れる

①「停止 / 開」ボタンを押すと、カセットテープ扉が開きます。

②カセットテープをガイドに合わせて入れ手動で閉じます。

※カセットテープの再生する面を手前にしてテープ面が上になるようにカセットテープを入れてください。



カセットテープを再生する

①「電源 / 切替」ボタンを押して

カセットテープ設定に切り替えます。

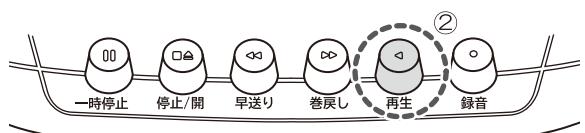


カセット
テープ設定

②「再生」ボタンを押すと、再生が始まります。

テープが全て巻き取られると、「再生」ボタンは元の位置に戻り再生を停止します。

①「電源/切替」
ボタン

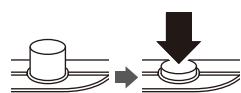


カセットテープボタンはカチチと音がするまでしっかり下に
押してください

●テープが破損する恐れがあります。

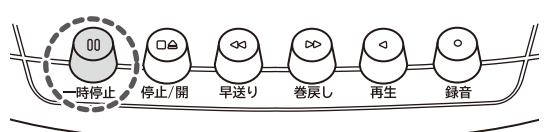
再生中に早送り/巻戻しを行ったり、早送り/巻戻し中に再生を行ったりしない

●テープの巻き付きやテープ切れの原因になります。必ず「停止 / 開」ボタンを押してから
行ってください。



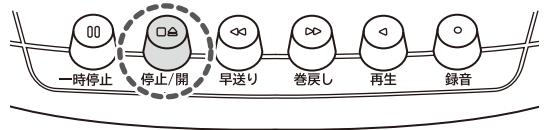
カセットテープを一時停止する

●カセットテープ再生中に「一時停止」ボタンを
押すと、カセットテープの再生を一時停止します。
もう一度押すとカセットテープ再生を再開します。



カセットテープを停止する

●カセットテープ再生中に「停止 / 開」ボタンを
押すと、カセットテープ再生を停止します。
「再生」ボタンは元の位置に戻ります。

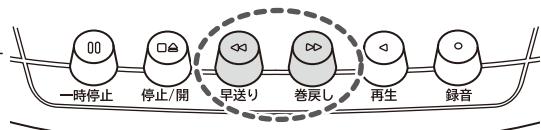


使い方

カセットテープを聴く

カセットテープを早送り/巻戻しをする

- 「 \triangleleft 早送り」・「 \triangleright 巻戻し」ボタンを押すと、早送り / 巻戻しされます。「 \square 停止 / 開」ボタンを押すと早送り / 巻戻しを停止します。早送り / 巻戻し中に再生を行なったりしない。



※テープを巻き取られても「 \triangleleft 早送り」または「 \triangleright 巻戻し」ボタンは、もとの位置には戻りません。



再生中に早送り/巻戻しを行ったり、早送り/巻戻し中に再生を行ったりしない

- テープの巻き付きやテープ切れの原因になります。必ず「 \square 停止 / 開」ボタンを押してから行ってください。

カセットテープへ録音

CDからの録音

- ①CDを入れ再生します。(P.5「CDを入れる」「曲を再生する」)

- ②カセットテープの録音する面を手前にして入れます。

(P.9「カセットテープを入れる」)

- ③カセットテープの「○録音」ボタンを押すと、

「 \triangleleft 再生」ボタンと「○録音」ボタンは

ボタンが押された状態になります。

すぐにCDの「▶再生 / 一時停止」ボタンを押し

CDを再生するとカセットテープに録音を開始します。

●「 \square 停止 / 開」ボタンを押すと録音は停止します。

●録音してテープが全て巻き取られると、

「○録音」ボタンと「 \triangleleft 再生」ボタンは元の位置に

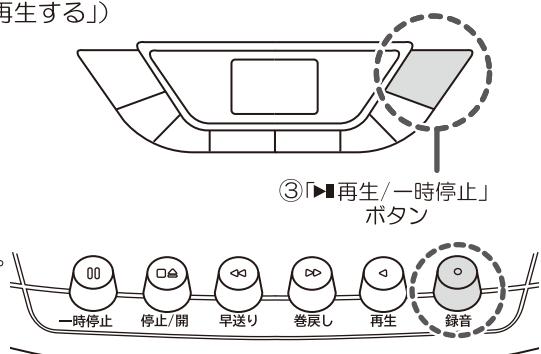
戻り、録音を停止します。

※録音中に音量や音質を変わっても、録音には影響しません。

電波状況により、録音音質は異なります。

- ④テープを再生する場合はテープを巻き戻してから、

液晶表示部を「カセットテープ設定」表示にして再生してください。



カセット
テープ設定

ラジオからの録音

- ①ラジオを起動して、録音したい局に合わせます。

(P.12「ラジオを聴く」)

- ②カセットテープの録音する面を手前にして入れます。

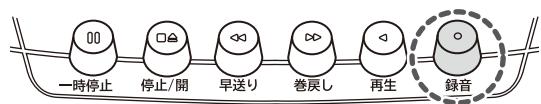
(P.9「カセットテープを入れる」)

- ③カセットテープの「○録音」ボタンを押すと、「 \triangleleft 再生」ボタンと「○録音」ボタンはボタンが押された状態になり、録音を開始します。

●「 \square 停止 / 開」ボタンを押すと録音は停止します。

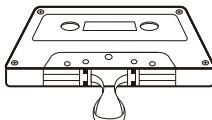
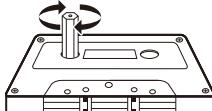
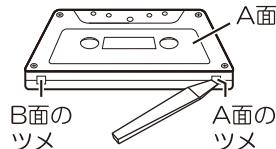
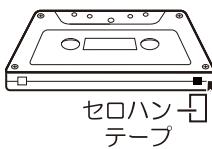
●録音してテープが全て巻き取られると、「○録音」ボタンと「 \triangleleft 再生」ボタンは元の位置に戻り、録音を停止します。

- ④テープを再生する場合はテープを巻き戻してから液晶表示部を「カセットテープ設定」表示にして再生してください。



使い方

カセットテープの取り扱いについて

使用可能な カセットテープ について	<ul style="list-style-type: none">●ノーマルポジション(TYPE I)60分以内のテープをご使用ください。 その他のテープをご使用されますと音質が変わる恐れがあります。
使用できない カセットテープ について	<ul style="list-style-type: none">●120分以上の長時間テープ テープが大変薄く、伸びやすいため本体に巻き込まれる恐れがあります。●エンドレステープ
カセットテープの 取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none">●テープのたるみは巻き取っておく(テープが傷ついたり、切れる原因になります)。●エンドレステープは使用しないでください。●テープが取り出せなくなったり、音質の低下を防ぐためにテープに付属以外のシール(特に厚みのあるもの)は貼らない。シールは指定場所以外に貼らない。  
大切な録音を 消さないために	<ul style="list-style-type: none">●録音を誤って消さないために、ドライバーなどでツメを折り取る。 再び録音したいときは、セロハンテープなどを貼る。 <p>間違って消したくない ときはツメを折る</p>  <p>再度録音したいときは テープで折った穴をふさぐ</p> 

使い方

ラジオを聴く



テレビなどの電子機器から離して使用する
●ラジオに雑音が入る場合があります。

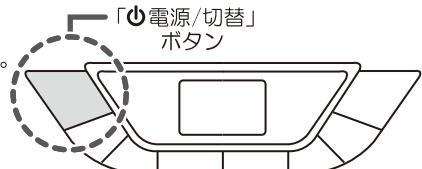
ラジオを聴く

①「**電源 / 切替**」ボタンを押して、ラジオ設定画面に切り替えます。

②ラジオ設定に切り替えた後、自動で液晶表示部の表示が

切り替わりラジオ FMになります。

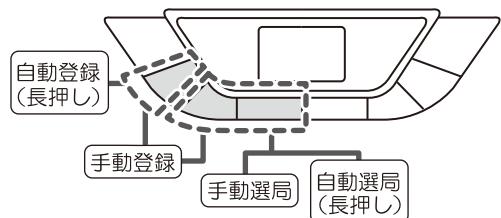
「**電源 / 切替**」ボタンを押して、ラジオ AM に切り替えます。



自動選局する

●「**戻る**」ボタンまたは「**進む**」ボタンを長押しします。

※電波状況の良い放送局を受信して、自動選局します。



手動選局する

●「**戻る**」ボタンまたは「**進む**」ボタンを押して
手動で周波数を合わせます。

自動で放送局を登録する / 登録局を選ぶ

①「**プログラム/モード**」ボタンを長押しします。

※電波状況の良い放送局を受信して、最大30放送局を自動登録します。

※自動登録は数十秒の時間がかかります。

②放送局登録後、「**■停止**」ボタンと「**戻る**」ボタンまたは、

「**進む**」ボタンを順番に押して登録局を選びます。

※液晶表示部に「**Pr E**」と表示されている間に「**戻る**」ボタンまたは、
「**進む**」ボタンを押してください。



使い方

ラジオを聴く

手動で放送局を登録する

- ①「戻る」「進む」ボタンまたは「進む▶」ボタンを押してプリセットに登録したい放送局を選択します。
- ②「プログラム / モード」ボタンを押します（液晶表示部の「PROG」が点滅）。
- プリセットに登録したい番号を選択する場合、「戻る」「進む」ボタンまたは「進む▶」ボタンを押します。
- ③「プログラム / モード」ボタンをもう一度押し放送局の登録を確定します。
- プリセットに追加したい放送局がある場合、手順①～③を繰り返してください。
最大30放送局まで登録できます。
- ④放送局を選ぶ場合③放送局登録確定後、「■停止」ボタンと「戻る」「進む」ボタンまたは「進む▶」ボタンを順番に押して登録局を選びます。

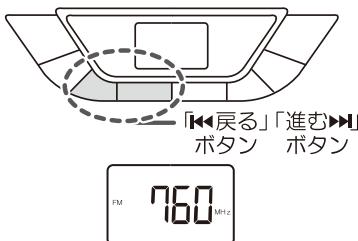
●登録局(プリセット)を消去する条件

以下の場合に設定した現在の登録局(プリセット)は消去されます(液晶表示部の「PROG」の表示が消えます)。

- ・電源プラグをコンセントから抜いた場合
- ・自動で放送局を登録しなおした場合
- ・手動で放送局の登録を上書きした場合

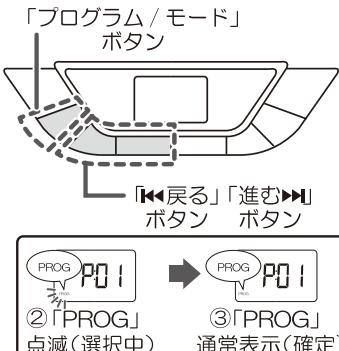
※登録局(プリセット)が消去されない間は、何度でも登録した放送局を聴くことができます。

登録したい
放送局を選択



- ①放送局を選択：
「戻る」「進む▶」ボタンまたは「進む▶」ボタンを押す

プリセット
番号選択



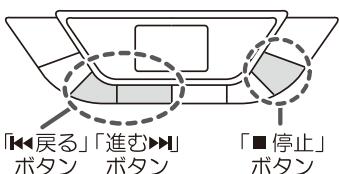
- ②プリセット登録番号選択：
「プログラム / モード」ボタンを押す
(液晶表示部は「PROG」が点滅)
プリセットに登録したい番号を、「戻る」
ボタンまたは「進む▶」ボタンを押し選択する

- ③プリセット登録番号確定：
「プログラム / モード」ボタンを押す
(液晶表示部は「PROG」が通常表示)

- 登録局を追加する場合、放送局選択
プリセット番号選択を繰り返します。
●プリセットには最大30放送局まで登録できます。

設 定 終 了

登録局
を選択



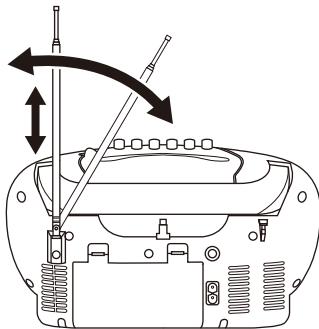
- ④放送局登録確定後、「■停止」ボタンを押し、
「戻る」「進む」ボタンまたは「進む▶」ボタンを押して
登録局を選び
※液晶表示部に「P r E」と表示されている間に
「戻る」「進む」ボタンまたは「進む▶」ボタンを
押してください。

使い方

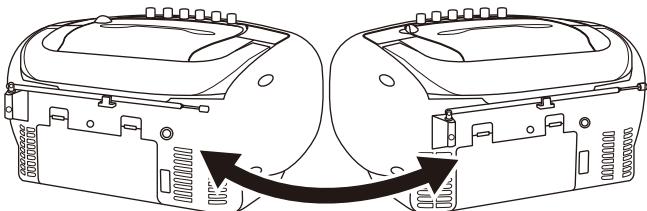
ラジオを聴く

電波状況を良くする

FM



AM



●アンテナを伸ばして、向きを調節してください。

●建物内部では電波が弱くなります。

雑音が気になる場合はなるべく窓際に置いてください。

●本製品の向きを変え調節してください。

※AMアンテナは本製品に内蔵されています。



過度にアンテナを調節しない

●破損する恐れがあります。

FMステレオ放送の雑音が気になる場合

●FMステレオ放送の受信に雑音が多い場合は、モノラル受信に切り替えると雑音が低減できる場合があります。

●FM受信信号の強弱により、信号が強い場合は自動的に液晶表示部に((ST))と表示されます。

●「▶再生／一時停止」ボタンを押して、切り替えることができます。液晶表示部に((ST))と表示されている場合はステレオ、表示されていない場合はモノラル設定になっています。

※「FM切替」ボタンを押してもFM受信信号が弱い場合は((ST))と表示されません。

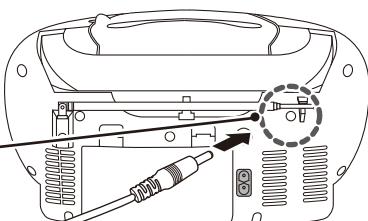


ヘッドホンで聴く

●ヘッドホン差込口にお持ちのヘッドホン端子を接続してください。

※ヘッドホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。

ヘッドホン差込口



ヘッドホン接続前に音量を下げる

●音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。

使い方

外部機器とつなぐ

外部機器と接続してスピーカーとして使う

●本体の外部入力(AUX)差込口と外部機器をφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続して、スマートフォンなどの音楽・音声を聞くことができます。

①双方の電源が切れた状態で、下図のように接続します。

②外部機器の電源を入れます。

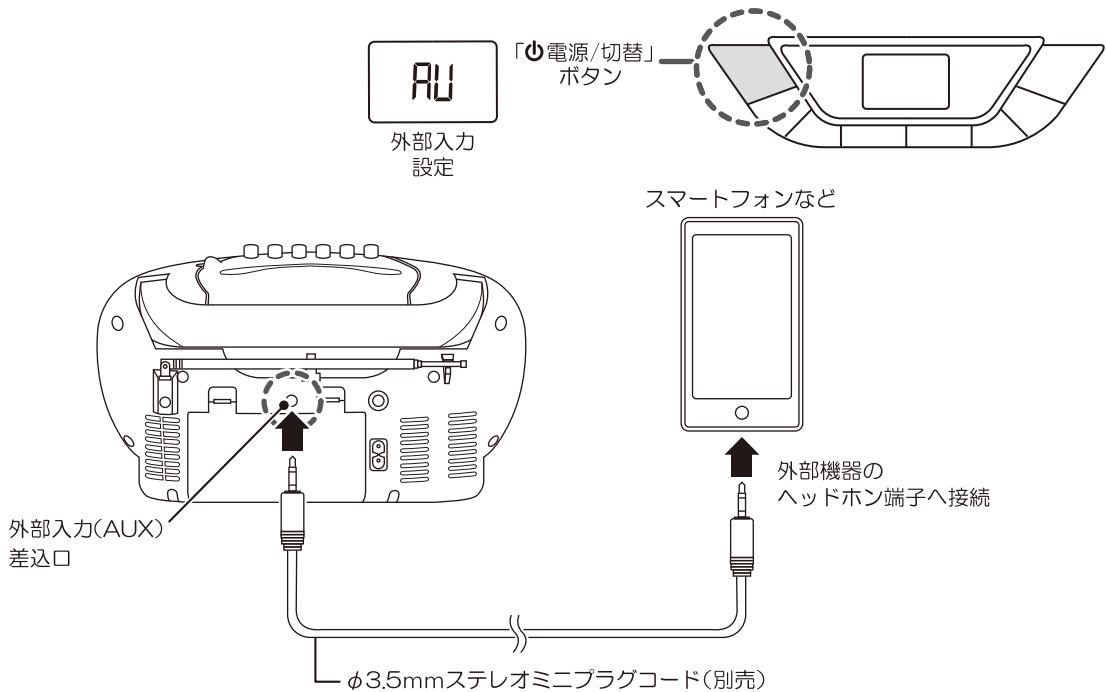
③本体の電源を入れ、「**電源 / 切替**」ボタンを押して、外部入力設定に切り替えます。

④外部機器側で再生などの操作をします。

※音量調節は本体と外部機器どちらでも可能ですが、機能を切り替えるとき大音量を発することがありますので、十分にご注意ください。

⑤終了するときは、「**電源 / 切替**」ボタンを長押しして、本体の電源を切ります。

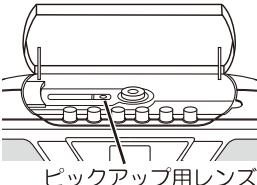
続いて外部機器の電源を切った後に接続を解除してください。



お手入れと保管

- 電源プラグをコンセントから抜いて、お手入れしてください。

お手入れについて

電源プラグ		長時間ご使用になると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。
本体		汚れがひどいときは水で布を湿らし柔らかい布で拭いてから、乾いた布で拭き取ってください。洗剤やシンナー、ベンジンで拭かないでください。
ピックアップレンズ		ピックアップ用レンズが汚れていると、音とびが起きたり再生ができなくなります。レンズについた指紋などの汚れは、新しい綿棒でレンズの中心から外側に向かって軽く円を描くように拭き取ってください。

《保管について》

- 保管の前は、必ずお手入れを行ってください。
- お手入れ後、梱包ケースに入れるかポリ袋を被せて、湿気の少ない場所に保管してください。

修理・サービスを依頼いただく前に

故障かなと思ったときは、次のことを調べていただいた上、異常がある場合は使用を中止し必ず販売店または当社サービスセンターへご相談ください。

症 状	原 因 と 対 策
電源が入らない 運転しない	<ul style="list-style-type: none">●電源が正しく接続されていない。 →電源プラグをコンセントにしっかりと根元まで差し込んでください。●電池の(+・-)を確認してください。●新しい電池と交換してください。
音が小さい (乾電池使用時)	<ul style="list-style-type: none">●新しい電池と交換してください。
CD が 再生されない	<ul style="list-style-type: none">●CD が規格に合致したディスクであるか確認してください。●CD の表裏が正しくセットされているか確認してください。●CD-R または CD-RW が空のディスクではないか確認してください。●外部入力(AUX)差込口に外部端子が挿入されていないか確認してください。 →外部端子を抜いてください。
CD の音がとぶ	<ul style="list-style-type: none">●ディスクが傷ついていたり、汚れていたりしないか確認してください。●音量が大きすぎると、振動により発生する場合があります。 音量を下げて再生してください。
ラジオの雑音が 多い	<ul style="list-style-type: none">●アンテナ向きを調節してください。●テレビなどの電子機器から離れた場所に設置してください。 窓際に設置してください。
カセットテープが 入らない カセットテープ扉 が閉まらない	<ul style="list-style-type: none">●カセットテープの上下の向きは合っていますか。 →テープが見える方を上にして入れてください。●カセットテープがカセットテープホルダーに入っていますか。 →カセットテープホルダーに正しく入れてください。
テープが 走行しない	<ul style="list-style-type: none">●カセットテープの不良ではありませんか。 →カセットテープを交換してください。●テープが薄い長時間テープを使用していませんか。 →60分以内のカセットテープをご使用ください。
外部機器の音が でない	<ul style="list-style-type: none">●外部機器が正しく接続されているか確認してください。●外部機器が正しく再生されているか確認してください。
カセットテープ 再生音が途切れる 音程がくるう 消去が不完全	<ul style="list-style-type: none">●テープヘッドが汚れていませんか。 →テープヘッドをお掃除してください。●ハイポジションやメタルテープを使っていませんか。 →ノーマルテープをご使用ください。
電源プラグが 熱くなる	<ul style="list-style-type: none">●コンセントの差し込みがゆるくなっている。 →コンセントがゆるい場合は使用を中止してください。●延長コード、タコ足配線などの状態で使用している。 →延長コード、タコ足配線などの状態での使用は避け、電源プラグをコンセントに直接差し込んでください。 <p>通常でも電源プラグは約 40 ~ 50°C 程度の熱を持ちます。 異常ではありません。</p>

上記の処置をしても直らなかった場合は、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。

●修理技術者以外の人は絶対に分解や修理・改造をしないでください。

発火したり、異常動作したりしてケガをする恐れがあります。

※修理には特殊な技術が必要です。

アフターサービス

修理・お手入れ・ご使用方法などについては、まずはお買上げの販売店または当社サービスセンターへご相談ください。

- ①この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

★個人情報の取り扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について、適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り、第三者への開示または提供は致しません。

仕 様

電源	AC100V 50/60Hz DC 9V (単2形アルカリ乾電池) 6本	
消費電力	15W	
CD プレイヤー部	チャンネル数	2チャンネルステレオ
	サンプリング周波数	44.1kHz
ラジオ部	受信周波数	AM : 522 ~ 1629kHz FM : 76 ~ 108MHz
スピーカー	2スピーカーシステム	
実用最大出力	2W+2W	
入力端子	φ3.5mmステレオミニジャック	
出力端子	φ3.5mmステレオミニジャック	
電池持続時間	CD連続再生(約)	9時間30分
	テープ連続再生(約)	14時間
	ラジオ放送(約)	20時間
製品寸法(約)	幅 290× 奥行 219× 高さ 144mm	
製品重量(約)	2.0kg (乾電池を含まない)	
電源コード長(約)	1.5m	

●製品の品質向上のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。



サービスセンター（製品の使い方や修理などに関するお問合せ）

☎:0120-070-440

[受付時間] 10:00～12:00・13:00～17:00

（土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く）

住所:〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号（雷響社サービスセンター） FAX:075-681-0886

Ver.1.1